

学歌
君のまなざし

詞 溝水哲男
曲・編曲 水嶋充

Moderato

めをとじて しすかにひとりあをとじて のをおも
ううみをおもうのようみよさみのひかさの
しすけさにそのからめきにあえてくるいとしむ日この
せがのなやみとまぶしいはるみのめをとじてきみよおらえ
おおコバルトブルー深く生きるものいのち
そしてしうかにめをあげてきみのま
なざしまーーしんじようーー

目を閉じて
静かにひとり目を閉じて
野を思う
海を思う

野よ 海よ
君の若さのしづけさに
そのきらめきに
見えてくる
いとしいほどの木々のなやみと
まぶしいほどの水脈のかなしみ

目を閉じて
君よ 思え
おお コバルト・ブルー
深く生きるものいのち

そして静かに目を上げて
君のまなざしを信じよう

福井県民歌

作詞 三好 達治
作曲 小松 長生

ひょうひょうひょうひょうひょうひょうひょうひょうひょうひょう
青海は岬にうたふ
國どころ越前若狭
たたなはる山しうるはし

秋の日の垂り穂豊かに
いや定らふ海のいろくづ
機杼の音も幸はふ
うまし国越前若狭

こゝにして新しき世は
古き世に替わりて興る
あなさやけ天つ日のもと
新壘の道はるかなり

一 長江は野に横たはり
青海は岬にうたふ
國どころ越前若狭
たたなはる山しうるはし

二 秋の日の垂り穂豊かに
いや定らふ海のいろくづ
機杼の音も幸はふ
うまし国越前若狭

三 こゝにして新しき世は
古き世に替わりて興る
あなさやけ天つ日のもと
新壘の道はるかなり